



### 「繋」～つなぐ～

これまでの伝統を大切にしながら、東宇治高校生であることに誇りを持ち、未来につなぐ人に育ってほしい。また、人と人とのつながりを大切にし、協力しながら社会を明るくする人に育ってほしい。という願いをこめました。



京都府立  
東宇治高等学校

第3学年 学年通信  
第5号  
令和7年10月7日

## 『古典に学ぶ』

中国の古典『莊子』中の有名な言葉に「得魚而忘筌（魚を得て筌（せん）を忘る）」があります。「筌」は魚を獲る道具のことで、「一たび魚を獲ってしまえば、そのために役立った手段や道具のことを忘れてしまう」というような意味です。このような境地を「忘筌（ぼうせん）」と言ったりします。私たちは本来、物でも能力でも何かを獲得するのに努力をしてきたはずなのに、獲得してしまうとその過程を忘れてしまいがちです。これは必ずしも悪いことではありません。何かを獲得できたり、できるようになったりすることは、それまでの過程が身体化して自然になっている状態だからです。これまでの過程が嘘のように再現できたりもします。

さて、夏休みを経て文化祭も終わり、皆さんの様子も変わってきました。多くは希望進路の実現を目指して努力している人たちです。希望進路が実現できれば「忘筌」の境地に達してそれまでの苦労も笑い飛ばせそうですが、11月から始まる公募推薦、1月の共通テスト、2月から始まる一般入試と先を考えると、努力を継続する道のりはまだまだ長そうです。希望進路の実現を目指してコツコツと日々の受験勉強を継続していきましょう。

『人間の土地』という本において、著者のサン＝テグジュペリは「完成は付加すべき何ものもなくなったときではなく、除去すべき何ものもなくなったときに達せられるように思われる」（堀口大学訳）と述べます。これもやはり「忘筌」の境地に近い発想です。皆さんの完成＝目標の達成は努力の地道な継続のその先にあります。

一方で、努力すべき状況にありながらも、すでに希望進路を実現した人や、合否発表間近で落ち着かない人、指定校推薦に選ばれた人など、様々な人の情報から浮ついた心境になっている人も見かけます。その中には何とかして今の苦しい状況から抜け出すために安易な進路選択をしようとする人もいます。気持ちはわかりますが、今は自分の実力をつける時です。周りを見れば頑張っている人の方が多いはず。同じ方向を向くことで自然と集団も同じ方向を向いてくるはず。皆さんが目標達成に近づけるよう担任団もサポートしていきます。

「累々と徳孤ならずの蜜柑かな」これは夏目漱石の俳句。「累々」は積み重なる様子。そして、この俳句には中国の古典『論語』の一節「徳不孤必有隣（徳は孤ならず必ず隣有り）」があります。「道義を貫く者は孤立しない、必ず仲間がいる」という意味ですが、「道義」などと堅苦しく考えなくても、「同じ志を持つ者」と言い換えてみてください。そんな仲間が積み重なればとても心強いでしょう？

『論語』からも一つ「有朋自遠来、不亦乐乎（朋（とも）有り遠方より来る、亦楽しからずや）」を紹介いたします。「友人が遠くから来てくれる、なんと楽しいことだ」というような意味です。ここでの友は「朋友」と言い、「同じ志を持つ友人」のことです。皆さんが努力をした先には、同じ努力を経た同じ志を持つ人たちが各地から集まり新たな世界が開かれるはず。あきらめずに頑張ろう。

## 中間考査期間中の時間割

	14日(火)	15日(水)	16日(木)	17日(金)
1限	政経・数特(7組) 数学C(数Ⅲ選択者)	論理国語	英コミュⅢ	論理・表現Ⅲ
2限	文学国語・化学	地理総合 地理探究	古典探究	世界史・日本史 物理・生物
3限		英語特講 数学演習 地学基礎(7組)	倫理・数学特講 数学C	

※ 考査を欠席・遅刻する場合は、朝9時までに必ず保護者の方による学校への電話連絡が必要です。

## ◆◆文化祭◆◆

夏休み前から計画的に準備をし、どのクラスも工夫を凝らしたすばらしい演劇でした。



## ◆◆今後の予定◆◆

- 10月 21日(火) 体育祭
- 23日(木) 体育祭予備日
- 27日(月) 生徒会立会演説会
- 11月 6日(木) 人権学習
- 12月 2日(火)～ 期末考査

